

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 22-37

補助事業名 平成22年度 中小機械工業のデザイン人材育成支援補助事業

補助事業者名 財団法人 大阪デザインセンター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

わが国の産業は、国際的な競争力のある産業を新たに育成することなしに、経済成長を維持することが困難な状況になりつつある。こうした事態を乗り越えていくためには、デザイン活用による高付加価値商品の開発・差別化を図ることが重要となっており、若手デザイナーがデザインマネジメントやデザインプロデュース能力を備えた人材として活躍できるよう、職業能力アップを図り、「デザインを経営資源」とした製品開発を通じて、国際競争力の強化と機械工業の振興に寄与する。

(2) 実施内容

① エキスパートデザイナー育成講座 (<http://www.osakadc.jp/>)

20名の募集で21名が参加。講座6回、円卓会議（「都市景観」「エネルギー」「文化」「創業」をテーマ）4回、4塾長のもとでのワークショップ（6回から11回）、成果発表会（テーマ「大阪のイメージアップ大作戦」）を実施した。塾生の疑問に答える形で質疑応答を重視、議論を通じて塾生の「着眼点・気づき」を養い、デザインの専門性だけでなく今日の社会問題にもテーマを広げ、幅広いデザイン能力を涵養した。

② デザイン学生へのインターンシップ支援事業 (<http://www.osakadc.jp/>)

公募で20名の実習生を選定した。実習生は「実践的なデザイン人材」をめざし、希望するデザイン事務所で15日間のインターンシップを行った。「デザインスキル」「企画構想力」「コミュニケーション能力」「提案力」「礼儀・マナー」など、普段学校では学べないことを体験し、将来デザイナーになる心構えを身に着けた。9月末に実習生・受入デザイン事務所が一堂に会し、座談会を実施した。

2 予想される事業実施効果

① エキスパートデザイナー育成講座

塾生を派遣した企業では講座を受講した塾生の変化に驚いており、今後の活躍が期待されている。「気づき」や「着眼点」を「デザイン」に反映させ、高付加価値商

品や差別化商品の開発が期待される。また、5年で100人の人材育成を目指す取組をスタートさせたが、今後、塾修了生とものづくり企業との交流の場を設定することにより、大阪・関西のデザイン振興を通じて、機械工業の振興と発展に貢献するものと思われる。

② デザイン学生のためのインターンシップ支援事業

インターンシップ支援事業は、デザイン事務所での就業体験など、実践的なデザイン人材の育成を通して、参加した学生は卒業後、関西の機械工業企業のインハウスまたはフリーランスデザイナーとして進路をとり、機械工業製品の開発への取り組みを行うなど機械工業の振興と発展に貢献するものと思われる。

3 本事業により作成した印刷物等

(1) 「デザインビジネス塾[co-design]—エキスパートデザイナー育成講座—」報告書

(<http://www.osakadc.jp/>)

(2) 「デザイン学生へのインターンシップ支援事業」報告書

(<http://www.osakadc.jp/>)

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人 大阪デザインセンター（ザイダンハウジン オオサカデザインセンター）

住所： 559-0034

大阪市住之江区南港北二丁目1番地10号 ATCビルITM棟内

代表者： 理事長 坂下 清（リジチョウ サカシタ キヨシ）

担当部署： 総務部（ソウムブ）

担当者名： 専務理事 望月 潤二（センムリジモチヅキ ジュンジ）

電話番号： 06-6615-5571

F A X : 06-6615-5573

E-mail : junji@osakadc.jp

URL : <http://www.osakadc.jp/>